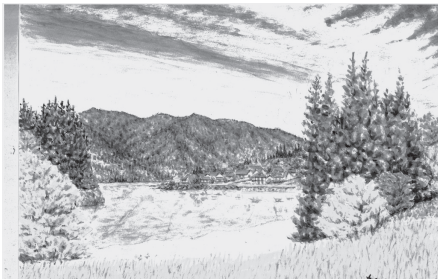




星野再審ニュース 213号



星野文昭さんの絵
「自然豊かな福島・只見川の秋」

■発行

星野さんをとり戻そう！全国再審連絡会議

■発行日 毎月15日

■購読料 1部100円（送料80円）

■連絡先 〒105-0004

東京都港区新橋2-8-16 石田ビル4階

TEL 03-3591-8224

FAX 03-3591-8226

■E-mail qq8u2cd9@dream.ocn.ne.jp

■URL <http://fhoshino.u.cnet-ta.ne.jp/>

■賛同会員 1口年間3,000円
（ニュース無料配布）

郵便振替 00110-5-155521

星野文昭さんに連帯のお便りを

〒779-3133

徳島市入田町大久200-1 星野 文昭様



310人が結集し、「現代の治安維持法と闘う会」を結成
1月22日、弁護士会館クレオ

2月号の紙面

絵画展、連鎖集会始まる	
100万人署名運動をまきおこそう	2
東京北部絵画展成功の教訓	3
東京なんぶ・中部絵画展	4
旗開き	4
現代の治安維持法と闘う会結成	5
『序局』第8号に星野さん特集	5
狭山物的証拠の全リスト開示	6
名張毒ぶどう酒事件異議申立棄却弾劾	6
星野修三さんの面会記	7
弁護士団が徳島刑務所に抗議	7
インフォメーション	8

絵画展、連鎖集会始まる

100万人の署名運動をまきおこそう

中心的な労働組合と交流

100万人と結びつき、星野文昭さんを取り戻す闘いは、1月冒頭から力強く前進しています。

1月9日から11日まで、東京北部で星野文昭絵画展が開かれました。23、24日には、東京なんぶ・中部（準備会）が合同で絵画展を開きました。

北部絵画展は、それまでの壁を一気に突き破って、地域の中心的な労働組合との交流をつくり出しました。さらに、様々な分野で闘っている人々とつ

ながるものとなりました。北部絵画展の成功は、100万人と結びつく現実性を示したのです（3面参照）。

絵画展は、2月の広島・上下町から、茨城、埼玉、沖縄と全国で次々に開かれます。さらに、これまで星野救援会のなかった地方でも企画が進んでいます。絵画展によって労働組合を軸にした豊かな陣形を形成し、全国に運動と組織を拡大して行きましょう。

1月24日、動労水戸第33回定期大会は、「労働運動の団結の力で星野文昭さんを取り戻そう」という決議をあげました。決議は「獄中四十年の不屈の闘いを貫いている星野文昭さんを団結の力で何が何でも取り戻そう！」と訴えています。

動労水戸は、新組合員のライフサイクルを粉碎するすばらしい勝利を勝ち取りました。さらにJRの全面外注化と被爆労働の強制とたたかい、労働運動拠点としてそびえたっています。この労働者の強固な団結の力が、星野闘争の前進を切り開いているのです。

29日には、東京なんぶユニオンが第11回定期大会において「星野文昭

さんを取り戻そう！ 全証拠開示の100万人署名運動に全力で取り組む決議」をあげました。

年末・年始には、「暖房を入れろ、湯たんぼ・カイロの使用を認めろ」という徳島刑務所との闘いに取り組みました。呼びかけに応じて、全国の星野救援会はじめ、動労千葉、動労水戸や労働組合の仲間、運動団体が、怒りに燃えて徳島刑務所に申し入れ書を送りました。何一つ回答しない徳島刑務所に対して、再審弁護団と連絡会議は抗議と再度の申し入れを行いました。

中東参戦阻止、安倍政権打倒

「イスラム国」による「日本人人質事件」は、2人の殺害という最悪の結果になりました。すべての責任は、侵略戦争を強行している日米の政府にあります。

安倍政権は、2人の殺害を口実にして中東侵略戦争に参戦し、さらなる戦争攻撃にのめり込もうとしています。今期の通常国会は安保国会であり、戦争法案と対決する歴史的な闘いです。安倍首相は「邦人救出」をかかげて、

自衛隊の派兵まで企んでいます。

安倍政権は、戦争攻撃と一体のものとして、治安弾圧の激化をはかっています。国会には、盗聴の拡大、匿名証言、司法取引など、治安弾圧激化の違憲の法案が提出されています。労働者民衆の決起を圧殺しない限り、戦争に向かつて突進することはできないのです。

1月22日には、「現代の治安維持法と闘う会」の結成集会が、310名の結集で大成功しました。安倍政権の「戦後70年談話」と対決し、「労働者民衆の団結で治安弾圧打ち破ろう」という画期的なたたかいは始まりました。

戦争を阻止する道は、労働者階級の国際連帯にあります。1980年代以降、不屈に闘って来た国鉄闘争を基軸とする階級的労働運動の前進こそ、世界大恐慌の戦争への転化を阻止する力です。

獄中40年を不屈に闘う星野さんは、戦争攻撃との闘いの最先頭に立っています。戦争・治安弾圧との闘いと星野さん解放の闘いはひとつです。2015年の闘いを全力で押し進め、星野さん解放の展望を切り開こう。

2・15国鉄集会から3・11フクシマへ攻め上ろう。これらの闘いに勝利して、9・6徳島刑務所デモに総決起しよう。



「戦争安保国会粉碎!」「中東侵略戦争をやめろ!」と怒りのシュプレヒコール(1月26日、国会前)

東京北部絵画展成功の教訓

地域まるごと獲得に挑戦

東京北部の会事務局

1月9日から11日までの3日間、東京北部の会として初の星野絵画展を開催しました。150人以上の参加と全証拠開示署名43筆、そして新しいつながりが生み出されました。会場のギャラリー古藤^{ふるとう}は星野誉夫さんが勤めておられた武蔵大学の真ん前。

武蔵大教授、星野無実を力説

星野誉夫さんも2日間にわたってお越しいただきましたが、やっと開催できたという思いでいっぱいです。また同大学の教授であり元NHKプロデューサーの永田先生も来場され、絵画を一通り見た後、車のフロントガラスの光った写真に目を転じ、何度もうなぎ、「自分もあの場所をよく知っている、確かに交差点の真ん中に居なければ見えない。殴打現場からは見えないことははっきりしていますね」と語ってくださいました。再審闘争が切り開いた「星野は無実！」の勝利性をあらためて確信した瞬間でした。

(3) 絵画展中に開催した全国再審連絡会議事務局長の金山克巳さんのお話は、

日本の受刑者が本当にひどい獄中処遇で苦しめられていることを海外の処遇の例と比較しながら明らかにしました。参加者みんなが星野さんが目の前にいるような気持ちになりました。

こうした3日間の成果として、ギャラリーでの次の催しのプログラムに星野全証拠開示リーフを差し込んでいただけると嬉しいサプライズが起りました。星野闘争が持つ普遍性・獲得性、何よりも星野さん自身が非転向で闘い続けている姿が誰をも引きつけてやまない力強さを確信しました。

大衆的に作り上げた絵画展

初の絵画展の取り組みでの教訓をいくつかあげます。1点目は、絵画展開催の獲得目標を、今の情勢と合わせて事前に討論したことです。星野の会が軸になりつつ、東京北部労組交流センター例会で呼びかけてその場で星野絵画展実行委員会を起し上げ、大衆的に議論したことが決定的でした。星野闘争を「過去の冤罪事件の救援」という次元に押し込めず、現在の戦争情勢と



1月9日、絵画展会場で集会

辺野古の攻防と重なるものにしようにと意見が交わされ、DVDの「星野文昭獄中36年」と70年沖縄闘争「進撃の論理」の2本を日替わりで上映したら、との青年の意見を採用しました。

絵画展とセットの上映は連日大変好評で、40代以下の人たちにとって70年安保・沖縄闘争がどのような闘いで、その中で星野さんの闘いがあつた事を理解するうえで重要でした。チラシも、無実の政治犯であることを積極的に押し出す絵を選び作り直しました。そして、会場も区職が軸となった市民運動の盛んな地域を選び、地域を丸ごと獲得する進取性をもって臨みました。近くの大学前でのピラマキも意識的に行いました。これらは、一定の成果として

て還元されてきています。

労組交流センター丸ごと決起

2点目に、事前の議論の結果として、北部労組交流センター丸ごとの決起が実現され、3日間の開催すべてを保障するとともに、地区の星野陣形が圧倒的に強化されたことです。

71年沖縄闘争を現在のこととして捉え、「星野は自分」として団結したことが、自主的で能動的な動きとなつて、交流センターメンバー一人一人の絵画展会場前でのピラマキから会場での署名などの獲得の力となつていきました。財政的にも、交流センターに加盟する労組で一定の下支えをしていたことができました。

地域拠点作りへ

3点目に、こうした若い世代も含めた能動的な決起は、星野闘争の内在化するものとして、必ず東京北部における星野闘争と東京北部の会の強化として集約していくものです。またそうしなければなりません。東京北部の会の圧倒的充実が求められているというこです。戦争国会と治安弾圧の情勢への突入のなかで、星野闘争はすべてを獲得する力を持ちます。地域拠点作りと労働組合建設の意欲をもって臨んでいきましよう。

東京なんぶ・中部の仲間で絵画展

東京・なんぶ 宮里 勝博

1月23・24日に千代田区九段生涯学習館ギャラリーで星野文昭絵画展を延べ90名の参加で開催しました。この絵画展はなんぶ星救と中部(星野準備会)の仲間と共催で獄中40年、無実の政治犯の星野文昭さんの再審・全証拠開示署名を中部・南部で展開する契機として開かれました。

なんぶ星救としては久方ぶりの開催でした。労組・街宣・集会・反原発首相官邸前でビラまきをしました。集会でビラを見て来てくれた人が3名いました。また会場前でのビラまきで参加する人も多数いたので、「獄中40年無実の政治犯、星野文昭絵画展をしています」という声かけは通りすがりの人であっても「心に響く」呼びかけとしてであると実感しました。

23日夜の講演会は参加者20名で全国



再審連絡会議の金山克巳さんに「全証拠開示・再審開始、100万署名へ」パンフを活用した提起を受けま

した。金山さんの「星野さんの無実の証拠、全証拠開示の重要性、ひとり一人が星野全証拠開示署名集めオルガナイザーとなる」と言う提起と「70歳までに再審を勝ちとりたい」という星野さんの思いが参加者のひとり一人の決意として集会は盛り上がりました。

集会は他に沖縄民権の会代表座覇光子さんの「沖縄と一体の闘いとして星野闘争はある。自分自身の問題として沖縄問題を捉えて欲しい」と問題提起もなされ、司会からは川崎沖縄県人会が呼びかける「辺野古新基地建設に反対する署名」へ取り組みの紹介がありました。また集会の冒頭に田沼雄一さんのリードで「ソリダリティ」を歌いました。さらに絵画展開催中は「ソリダリティ」CDを流し、星野ビデオ上映もしました。これも絵画と共に参加しやすい雰囲気と星野さんが決起した70年の背景がわかりやすくまとめられているので参加者の声として評判がよかったです。

この星野絵画展の開催から誰でも出来る「星野救援活動」として、地域に職場に星野署名をガンガン集めたいと思います。

動労千葉

1月10日、動労千葉団結旗開きがD C会館で盛大に開かれ、2015年を総力で闘い抜くことを誓い合いました。共同代表の戸村裕実さんが連帯の挨拶を行いました。

田中康宏動労千葉委員長は、「身の引き締まる思いで新年を迎えた。今年には労働者にとつて大きな分岐点をなす年になる」と切り出し、安倍政権がたくらむ集団的自衛権関連法を絶対に阻止しようと訴えました。また、昨年末に出されてもおかしくなかった鉄建公団訴訟の最高裁反動判決を阻止したことを明らかにし、「すべてが新年になだれ込んだ」と述べて、「国鉄分割・民営化以来のすべてをひっくり返す」と決意を明らかにしました。

旗開き



が軍事空港を考えているからだ。動労千葉を先頭とする労働組合、市民運動、沖縄、福島の間いと三里塚は一つです。まず三里塚で勝ちましょう。」と訴えました。

都革新など3団体

3・29三里塚全国集会に結集しよう。1月18日、荻窪で都政を革新する会東京西部ユニオン、鈴木たつおとともに歩む会の三者共同による新年旗開きが開かれ、4月統一地方選・北島邦彦必勝へ、戦争・改憲に突き進む自民党・安倍政権打倒に向けて、激動の2015年を意気高く闘う誓う場となりました。共同代表の狩野満男さんが連帯の挨拶を行いました。

三里塚反対同盟

1月11日、新年初の三里塚現地デモと団結旗開きに140名が結集しました。全国再審連絡会議、星野救援会の多くが駆けつけ、共に闘いました。

市東孝雄さんは、「安倍政権は、労働者と農民を生きられないところに追い込んでいる。第3滑走路などを進めるのは、戦争ができる国をめざす安倍

4月杉並区議選に挑戦する北島邦彦さんは、「今年こそ安倍政権を倒し、安倍政治を断ち切らないといけない。」と訴えました。

鈴木達夫弁護士団長は、「労働者が職場で団結して、搾取の現場、それぞれの職場で力関係を変える。その集大成として労働者を中心とした新しい社会をつくろうというのが安倍に対する最大、唯一の回答です」と訴えました。

労働者民衆の団結で治安弾圧うち破ろう

「現代の治安維持法と闘う会」を結成

現代の治安維持法と闘う会事務局 菊地 安長

1月22日、「現代の治安維持法と闘う会」結成集会に310人が参加し大成功しました。安倍政権が集団的自衛権と「戦後70年談話」で再びの侵略戦争に突入しようするなか、治安維持法の歴史を乗り越える勝利のスローガンとして、「労働者民衆の団結で、戦争と治安弾圧をうちやぶろう！」を満場の拍手で確認しました。

運動の前進こそが、現代の治安維持法を打ち破るカギ。職場等で治安攻撃と闘うことで労働者民衆の団結を拡大し、安保関連法・盗聴法改悪阻止の国会闘争に攻めのぼろう」と提起しました。

呼びかけ人・荻野富士夫さん（小樽商科大学教授）の記念講演では、「当局は相互監視と密告を奨励して、政府に不満を言わない国民づくりを狙う。秘密保護法がそれを担い、自己増殖し

ようとしている」と、現代の情勢と関連させて治安維持法の歴史をひも解きました。

闘う現場から、司法改悪と闘う武内更一弁護士、爆取裁判の須賀武敏さん、法大文化連盟の武田雄飛丸さん、「横浜事件」国賠訴訟の山本志都弁護士が発言。金山克巳さんが星野さん奪還に向けた百万人署名を呼びかけました。

最後に青年労働者の「団結頑張ろう」で感動的な集会を終わりました。26日の国会開会日闘争を直ちに打ち抜き、治安弾圧法と闘う運動がついにスタートしました。

『序局』第8号に星野さん特集 無実の政治犯 星野文昭さん解放を

『序曲』発行人 十亀 弘史

雑誌『序局』の第8号に「無実の政治犯 星野文昭さん解放を」と題する特集記事が掲載されています。筆者は、再審弁護団の岩井信主任弁護士・全国再審連絡会議の戸村裕実共同代表・宮本弘典関東学院大学教授の3氏です。

その文にも、今こそ星野さんを取り戻そうとの強い思いが込められています。岩井弁護士は、東京高裁による第2次再審請求棄却決定を、明快に具体的に弾劾されています。同日・同時刻の現場で「星野さんが言うとおりに車

のフロントガラスが「キラッと光」るのを見たという報告は劇的です。無実だからこそ、さらに「一目瞭然」の証拠の開示を訴え、「最後には必ず真実が実現し、歴史に残る」と結ばれています。勝利を確信させる頼もしい説得力に満ちています。

争だけでなく、まさに「三里塚闘争をも包含したところの攻撃」なのです。ご自身の体験を踏まえた星野さん解放への思いに真情が溢れています。「全証拠開示は、星野文昭さんの無実を勝ち取る要であり、今日の司法の普遍的課題でもある」。本当にそうだと思います。

宮本さんは、事件の概要とこれまでの裁判闘争の内容を正確に要約された上で、「もはやご都合主義としかいえないこの呆れるばかり」の有罪認定の決定的な誤りを鋭く抉り出し、司法の本質を明らかにされています。検察官も裁判官も「治安管理を旨とする『国益』の擁護者に過ぎない」と見抜かれ、星野さんの再審の実現は「革命としての政治犯再審」であり「希望を育てる闘い」なのだと言われています。星野さんの闘いに初めて接する人にも、その全体がしつかりとつかめる特集になっています。



荻野富士夫さん

事務局からの経過報告では、「国境を越えた階級的労働

現場で「星野さんが言うとおりに車

す。星野さんへの無期攻撃は、沖縄闘

新自由主義と対決する総合雑誌

序局

第8号 2015.1

戦後70年—新たな戦争と改悪

新しい労働者の闘争へ導く 鈴木達夫弁護士 衆院選挙戦を脱却する 黒島善輝
 集団的自衛権は全面武力行使への道 黒島善輝
 安倍戦争政治と「朝日新聞バッシング」 十亀弘史

階級的な関係をひっくり返す時 藤野千恵子 田中麻生
 3 労働者共闘は総連闘闘争への怒りの結核 津島尚子 中村吉政
 医療の現場で階級的労働運動を闘う 藤野千恵子 黒島善輝
 釣コソ解雇闘争の完全勝利 藤野千恵子 黒島善輝

「力ある組合」への挑戦 UTLA副委員長 セシリー・マイアトケルス
 4年目の3・11に向かう福島から 佐藤幸子 稲名千恵子 江原和子
 連載 労働裁判の最新情報から 労働者との心をつなぐレポート
 無実の政治犯 星野文昭さん解放を 岩井信 戸村裕実 宮本弘典
 連載 田井雄夫の現代映画論 藤野千恵子 高崎光晴

★定価900円+税 全国の書店で発売中
★星野事務局でも取り扱いあります

狭山事件第3次再審請求

物的証拠の全リスト開示

1月22日、狭山事件の第3次再審請求で、東京高検は物的証拠の全リストを開示した。これは、再審事件では初めてのことであり、画期的な事だ。

開示されたリストに記載された証拠は279点。このうち44点は検察側がこれまで明らかにしていなかった証拠で、石川さんが書いたと見られるハガキなども含まれていた。

確定判決は、脅迫状は石川さんの筆跡であるとし、石川さん「有罪」の重要な証拠と位置付けている。しかし、石川さんは脅迫状など書いていない。ハガキは、当時の石川さんの筆跡が脅迫状の筆跡とは異なることを示す証拠となるものだ。

その上で、弁護団は「今回のリストの開示は大きな一歩だが、まだ証拠そのものが全て開示されたわけではない。東京高検以外に証拠が存在する可能性もあり、今回開示されたリストやこれまでに開示された証拠を精査し、さらに証拠開示を求めていく。また捜査書類など



東京高裁前の早智子さんと一雄さん

また捜査書類など

を含めた全証拠リストの開示も必要」と、今後も徹底した証拠開示と事実調べを訴えていくと述べている。

石川一雄さんは毎週、東京高裁前で、妻早智子さんと共に、証拠開示と事実調べを要求し、再審開始を訴える街宣を行うなど不屈に闘っている。

物的証拠の全リスト開示は、石川さんの国家権力への非妥協の闘いによるものであり、再審開始・無罪確定への重大な前進である。

星野文昭さんの再審闘争において、検察官は、現場目撃者11名の供述調査の開示をしないばかりか、多くの捜査資料を隠したまま。検察官は、収集した物的証拠を全部出すべきだ。デモ参加学生の「供述調査」を作成した取調の実態を明らかにするべきだ。

無実であるにもかかわらず、無実の証拠を隠したままで「無期懲役」にし、星野さんを40年間も投獄しているのは国家犯罪だ。そもそも、証拠は断じて検察官の独占物ではない。星野さんには、全証拠開示を求める権利がある。

全証拠開示・再審開始を求める「100万人署名運動」を全国で巻き起こし、星野さんの解放を実現しよう。

名張毒ぶどう酒事件第8次再審請求

異議申し立て棄却弾劾！

1月9日、名古屋高裁は名張毒ぶどう酒事件で死刑を確定させている奥西勝さん(88)の第8次再審請求審の異議申し立てを棄却した。腹の底からの怒りを込めて弾劾する。

奥西さんは無実である。1審では無罪判決、そして、一度は再審開始が決定された事件である。奥西さんは、事件現場の公民館でぶどう酒の王冠を歯で噛んで開けたと「自白」を強いられた。そして、公民館の火鉢から発見された王冠のキズが、事件後の検証で奥西さんが噛んだ王冠の歯形と一致する(松倉鑑定)として、これが有罪の重要な証拠とされた。ところが松倉鑑定は、キズが一致するかに見せかけるため鑑定写真の倍率を操作した不正なものであった。

奥西さんは、公民館で、一人でいた10分間に、ぶどう酒に農薬を入れたとされている。奥西さんが一人で居たということは、S証言に基づいているが、S証言は信用できない。事件直後のS供述では奥西さんは公民館でSさんや別の主婦とずっと一緒にいたとされており、そのことは名張署長の捜査ノートに記載されている。

また、犯行に使われた農薬は、奥西さんが「自白」した、ニツカリンTではない。そのことは、ニツカリンTをぶどう酒に混ぜた場合に検出される物質が、事件のぶどう酒からは検出されなかったことから明らかである。

こうした多くの疑問にも関わらず、裁判官は勝手な推測で、奥西さんを犯人と決めつけ、死刑判決を維持してきたのである。裁判官は、弁護団提出の証拠も見ず、弁護団が要求した証拠開示命令も拒否して、検察官と一体に、死刑判決を維持している。治安維持・階級支配のための国家の冷酷と残忍を絶対に許すことはできない。

戦争の時代にこの攻撃は一層強まる。真実を拒否し、戦争に突進する国家そのものを、労働者人民の団結の力で打倒しよう。その闘いこそが、戦争を阻止し、星野さんを取り戻す力である。

名張毒ぶどう酒事件 1961年3月

28日の夜、三重県名張市葛尾(くずお)地区の公民館で起きた毒物混入事件。5人が死亡した。奥西勝さんが農薬ニツカリンTをぶどう酒に混入したとして、死刑が確定した。

2日間のあつという間の徳島面会

弟 星野 修三

1月8日、9日、文昭と面会してきました。文昭に会うのは2013年10月以来です。今回は暁子さんが風邪とのことなので、一人での面会でした。

昨年暮れに北海道に移住してから初めての面会です。7日朝に新千歳空港から関西空港に行き、和歌山港からフェリーで徳島に着きました。元木さんが迎えに来てくれたので助かりました。仙田さん達とも後に会い、徳島に着いたんだなと実感。

8日、仙田さんの車で刑務所へ、そして面会。この時札幌から一緒に来たつれあいのゆかりさんも会うはずでしたが、「入籍してない」と門前払いにありました。何時までも続く人権無視の態度でした。久しぶりに面会室に入り、冷たく氷ついた小さな小部屋の向こうのドアに、文昭が入って来るのを待ちました。ド



ゆかりさん、修三さん

アが開きいつもの笑顔？ いや、曇っていました。すぐに暁子さんの話になり、10分ぐらいしてからフミも落ち着いてきてやつと目が優しくなりました。面会は、あつという間でした。

9日は午前11時のフェリーに乗るの、朝一番の面会をしようと仙田さんが刑務所まで送ってくれました。ドアが開くと何時もの笑顔のフミが現れ、ホッとして久しぶりの二人での話が広がり、今の生きかたや様々な解釈、考え方を話し合えました。

狭い刑務所でありながら文昭なりの哲学を考えている事に安心しました。・・・「文昭また会おうな」と手をかざして再会を！ ドアが閉まり、少しの間、文昭の気配を感じながら、もう記憶から遠のいていく札幌でねと・・・。二日間の面会は色々考えることができました。

その後、ゆかりさんが面会できなかつた事もあり刑務所の周りを歩き、山の上から刑務所を見て、すだち・菟蓐を作っているおばさん（文昭の応援もしてくれてる）の所にもよって、河の石を拾いフェリー乗場に。

徳島から雪の札幌に無事着きました。

寒さ対策申し入れを無視する徳島刑務所

弁護団・再審会議が抗議、申し入れ

昨年12月以降、全国の星野救援会や労働組合、運動団体は、「暖房を入れろ、湯たんぽやカイロの使用を認めろ」等5項目を求める申し入れを繰り返して行ってきました。

徳島刑務所は山の中腹にあり、冬季には氷点下の日々が続きます。星野文昭さんは40年もの獄中生活によって、平熱が35度台という低体温症になっています。まわりの壁がすべてコンクリートという中で、星野さんは絵を描いたり、手紙を書いたりしなければなりません。ふとんに横向きに寝ると、空気にさらされる耳が一晚で霜焼けになるとい生活が強制されています。

星野再審弁護団と再審連絡会議は、12月24日付けで申し入れ書を徳島刑務所に送るとともに、本年1月7日まで「文書をもって回答」するよう要求しました。

1月になり、徳島刑務所が弁護団と再審連絡会議への回答を送らないばかりか、全国の星野救援会や労働組合、運動団体からの申し入れにも一つの回答も行っていない事が判明しました。

2月4日、再審弁護団と再審連絡会議は「星野文昭さんを始めとする受刑

者たちの健康と人権を守るために嚴重に抗議すると共に、先に申し入れた5項目を直ちに実施するよう」求める再度の申し入れを送りました。

受刑者は人間です。獄中であっても、人間らしい生活を送る権利を持つています。食事、衣服、医療、居住等すべてにおいて、刑務所の非人間的な現実を絶対に打ち破ろう。

徳島刑務所は、「予算がない」を口実にして、今日まで何の寒さ対策も行っていない。唯一認めているのが、布団をこたつのように足にかけて良いということだけです。しかし、これでは絵を描いたり、手紙を書いたりすることができません。厳寒の季節を迎えるのに、居房の暖房やポケットカイロの購入を認めない徳島刑務所を許すことができません。

府中刑務所等では、受刑者全員にポケットカイロの購入と使用を認めています。全国から、さらなる抗議と申し入れを送り、星野さんの健康と権利を守ろう。

前号報道の寒さ対策申し入れ書は、福島取り戻す会と東海合同労組も送っています。

星野文昭さんの歩みと裁判・再審

- 1946. 4. 27 札幌市に生まれる
- 1962. 4 道立月寒高校入学、翌年、生徒会長をつとめる
- 1966. 4 高崎経済大学入学、不正入試阻止闘争に参加
(記録映画「庄殺の森」に登場)
- 1969 同大学再建自治会執行委員会副委員長就任
- 1971 春 成田国際空港反対闘争支援のため千葉県三里塚
に常駐 7月、9月の闘争で指名手配を受ける
- 1971. 11. 14 沖縄返還協定批准阻止闘争(渋谷闘争)に参加
1名の機動隊員がデモ隊との衝突で火傷死(渋谷事件)
- 1972. 2. 21 渋谷事件で殺人罪指名手配を受ける
- 1975. 8. 6 不当逮捕
- 1979. 2. 13 死刑求刑、死刑阻止12万筆署名集まる
- 8. 21 一審判決、懲役20年
- 12. 2 「星野・奥深山・荒川三君を救う会」結成
- 1983. 7. 13 二審判決・無期懲役
- 1986. 9. 17 暁子さんと獄中結婚
- 1987. 7. 17 最高裁上告棄却・無期懲役確定
- 10. 30 徳島刑務所移監
- 1988. 杉並と徳島で「救う会」発足
(以降、全国で27の救援会が結成されている)
- 1990. 11. 27 父、三郎さん逝去
- 1991. 5. 15 再審弁護団結成
- 1996. 1. 28 「星野さんをとり戻そう!全国再審連絡会議」発足
- 4. 17 再審請求書提出
- 8 「ゴキブリを踏んだ足を洗った」として20日間の懲罰
- 2000. 2. 22 再審請求棄却決定
- 2. 24 異議申立
- 2004. 1. 19 異議申立棄却
- 1. 23 最高裁に特別抗告
- 2006. 6. 友人面会実現(以降、94人が面会)
- 2007. 6. 8 母、美智恵さん逝去
- 2008. 7. 14 最高裁、特別抗告棄却決定
- 2009. 11. 27 第2次再審請求書提出
- 2010. 3. 24 東京高裁に対して証拠開示請求
- 3~4 星野さんに2度の懲罰(1週間の閉居罰と戒告)
- 2011. 4. 4 ビデオ国賠訴訟提訴
- 11. 14 面会・手紙国賠訴訟提訴
- 2012. 2. 5 徳島刑務所包囲デモを600名で闘う
- 3. 30 東京高裁第11刑事部(若原正樹裁判長)が再審棄却決定
- 4. 3 東京高裁に異議申立
- 5 全証拠開示大運動開始
- 9. 28 異議審補充書提出・東京高裁包囲デモ
- 12. 4 証拠開示請求書提出
- 2013. 5. 17 証拠開示を求める弁護団意見書提出
- 9. 8 9・8徳島刑務所デモ
- 12. 1 12・1全国集会・都心デモ
- 2014. 6. 29 星野全国集会を670名で勝ち取る
- 7. 18 面会・手紙国賠判決
- 9. 9 ビデオ国賠勝利判決
- 11. 29 11.29全国集会に470名が結集

全証拠開示・第2次再審署名 59,022筆(1月31日現在)

インフォメーション

- 2・15 労働者集会(東京)
国鉄分割・民営化で不当解雇から28年
日時 2月15日(日) 開場17時半 開会18時
場所 すみだ産業会館9階サンライズホール
呼びかけ 国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動
- 広島上下町絵画展
日時 2月21日(土)~3月22日(日)
場所 旧白壁ギャラリー(広島県府中市上下町)
主催 広島星野文昭さんを救う会
- 3・1ピキニデー
日時 3月11日(日)13時30分開場 14時開会
場所 産業商工会館3階講堂
主催 すべての原発いまずぐなくそう!全国会議(NAZEN)東京
- 3・11反原発福島行動'15
日時 3月11日(水)13時~
場所 郡山市民文化センター・大ホール(集会後、デモ行進)
主催 3・11反原発福島行動実行委員会
- 三里塚3・29全国総決起集会
日時 3月29日(日)12時
場所 成田市栗山公園(旧市営グラウンド)
主催 三里塚芝山連合空港反対同盟
- 沖縄星野絵画展
日時 5月6日(水)~10日(日)
場所 那覇市民ギャラリー(パレットくもじ6階)
- 東京東部絵画展
日時 5月26日(火)~31日(日)
場所 金町地域センター
主催 東京東部星野文昭さんを取り戻す会

国賠裁判

- ビデオ国賠控訴審第2回裁判
日時 3月9日(月)11時30分
場所 東京高裁809号法廷

● 財政報告	2015/1 単位円
(1) 収入	392,433
① 賛同金	9,000
② 基金	1,000
③ カンパ	243,507
④ 頒布物売り上げ	138,602
⑤ 繰越金	324
(2) 支出	391,857
① 獄中支援、処遇関係費	42,000
② 救援運動経費	349,857
通信費	57,971
発送費	127,977
運営費	65,892
消耗品費	25,877
頒布物制作費	61,398
コピー	10,742
(3) 繰越金	576
● 第3期再審カンパ会計	2015/1
(1) 1月カンパ	112,800 (累計 662,235)
(2) 1月支出	81,812
(3) 前月繰越金	18,780
(4) 翌月繰越金	49,768

第4期再審250万円カンパのお願い

▲安倍政権が、『イスラム国』の人質事件を人民の戦争動員に徹底的に利用する攻撃の中で、絵画展・連鎖集会在、地域の闘う人々とのつながりを現実につくりだすものとして開始されました。戦争を阻止し、星野文昭さん解放を力強くたぐり寄せる闘いの開始です。▲運動の前進と一体に、新証拠発掘と、全証拠開示・再審開始へ再審闘争を強化していきます。日常的な弁護団活動、星野さんとの団結を一層

強化していきます。▲再審カンパは1月末で累計約66万円頂きました。ありがとうございました。更に、7月中までの250万円カンパ達成を心から訴えます。

カンパ送金先

郵便振替口座 00110-5-155521
〒105-0004 東京都港区新橋2-8-16 石田ビル4階
星野さんをとり戻そう!全国再審連絡会議
TEL 03-3591-8224 FAX 03-3591-8226